



古道を訪ねて①

はじめに

私たちが暮らしている箕面市には、旧街道や古道と言われる昔の道がいくつもあります。今ではほとんどがコンクリートの路面になっている古道ですが、傍らにある道標や石仏、白壁造りの民家や土蔵などが、車の排気ガスや騒音を忘れさせ、心を和ませてくれます。

都市化が進み、住宅地として著しい発展を遂げてきた本市では、多くの新しい道が整備されていますが、昔からあった古道がなくなってしまうわけではなく、新しくできた道とともに、人々の生活に欠かせない役割を果たし続けています。

近年「歴史街道」がブームになり、全国的に昔の道を活用したハイキングや歴史講座などが盛んに行われています。毎年5月には、文化庁が「歴史の道月間」を定めたことにより、各地でさまざまな道に関する行事が催されています。本市でも、西国街道の整備や、街道沿いにある萱野三平旧邸の整備・公開にあわせて、街道を歩く歴史愛好者のグループが増えています。

し、郷土資料館が主催する歴史散歩などの講座に参加されるかたや、古道に関しての質問を寄せられるかたが多くなっています。

自動車や単車が街中を走りまわる「車社会」の今の時代に、徒歩や自転車で移動することは時間もかかり、疲れもありますが、木々や草花の美しさや、町並みや歴史の面影を感じることができ、ほど良い運動にもなります。代表的な例として箕面市を東西に横切る西国街道ですが、市域の部分はわずか7km程度です。端から端まで歩いてみたいして時間を必要としませんが、ゆつくりと旧跡や道標などを見学しながら散策するには最適の道です。また、西国街道以外にも、魅力のある道がいくつもあります。

そこで、このシリーズは市内に残っている街道・古道を實際

に訪ね歩かれるみなさんの参考となるガイドブック的なものに、一人でも多くのかたに、実際に歩いていただけるような内容にしたいと考えています。

「西国街道」、「箕面・大坂道」、「巡礼道」、「能勢街道」、「有馬道」、「勝尾寺旧参道」その他、多くの古道が市内各地を縦横に通っているの、みなさんが日常生活のなかで利用されている道が、「歴史の道」ということが往々にしてあると思います。その際はぜひ「この道にこんな歴史があったのか」と、遠い昔に想い寄せていただければ幸いです。

紙面ですので、どの程度ご紹介できるのか、少し不安なところもありますが、説明の不十分な箇所は、それぞれのかたが道を歩かれて確認されることを期待しています。まずは、次号から数回にわけて「西国街道」を訪ねてみることにします。

